

地味でも大切だと思った

家でも新聞を読む習慣がついた



校内の新聞閲覧コーナーの利用により



面接試験対策が万全に!!
新聞を読む習慣が定着!!

学力向上
フロンティア校
支援事業

3年 F君 (販売系企業内定)

今年から、校内で新聞4紙が閲覧できるようになったと、日本史の時間に先生から紹介された。

テレビのニュースを見るより具体的に知る事ができると思って閲覧した。

面接試験の際に、「最近のニュースで気になることがあれば書きなさい。」との出題があり、事前に新聞を見ていたことが大変役に立った。

3年 I君 (看護学校合格)

新聞閲覧コーナーの利用については、国語表現の授業等で紹介があった。

推薦入試の面接対策として、日頃から閲覧コーナーで新聞を読み、新しいニュースの確認を続けていた。実際の面接では、「JALの事故」について話しができた。新聞各紙を比較しながらの閲覧ができ、ニュースの主な内容が理解しやすい。



2年 Iさん (専門学校希望)

新聞各紙の記事についての比較をしながら、社会の動きを知りたいと思った。

その中で、日本だけでなく他国の出来事を知るきっかけになった。1年生の現代社会や英語で習った内容の記事を読むとさらに深く知ることができた。

日本の政治や経済の欄は将来面接試験でも質問されると思うので、そこを中心に記事を集めると3年生にとってはとても有り難いと思う。1・2年生の段階から新聞を読む習慣を付けておけば、3年生になってからも楽だと思う。

今年から校内にできた新聞の閲覧コーナーは地味でも大切だと思った。

3年 Mさん (家業希望)

3年生になるまで自宅ではあまり新聞を見る習慣がなかった。今年度学校で新聞各紙を同時に閲覧できるコーナーが設置された。読んでいくうちに興味が増し、自宅でも新聞を読むようになった。

テレビのニュースでは、大まかなことしか言わないが、新聞では詳しい内容を知ることができる。

